

事業概要【若者・子育て世代を中心とした「ぐんま暮らし」推進】

申請者	群馬県ほか2自治体※						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	812,294千円 (275,571千円)
経費の類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 子育て・生活環境等の情報発信や移住後の暮らし体験事業等により、若者・子育て世代を中心とした移住を促進する。 日本人県民・外国人県民の双方が暮らしやすい環境づくりを行い、国籍にかかわらず活躍できる地域の実現を図る。 							
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>若者・子育て世代を主なターゲットとした移住に関する相談会・セミナー等を実施するとともに、移住後の子育て環境や生活環境等の具体的なイメージを持ってもらうため、若者向けの情報発信や、暮らし体験等を実施する。</p> <p>○若者・子育て世代をターゲットとした移住促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住PR・相談拠点設置（委託料）等 77,146千円 <p>○移住後の「ぐんま暮らし」提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力発掘、移住体験事業（委託料等）157,689千円 <p>○日本人県民と外国人県民との相互理解促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多文化交流イベント開催（委託料）等 13,248千円 <p>○若者・子育て世代が移住しやすい環境・子どもの居場所づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの居場所づくり・体験創出モデル構築（委託料等）等 27,488千円 							
地域の多様な主体の参画	<p>県内の各観光協会が地域の魅力を発信するとともに、県と市町村が連携して、移住後の暮らしに関する情報等を発信し、移住促進を図る。</p> <p>地域おこし協力隊や移住コーディネーターが、移住者と地域を繋ぐ役割を担い、移住・定住支援を行う。</p>					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①他県から群馬県への移住者数（+391人） ②県及び県内35市町村と連携し移住をテーマに制作したショート動画の総再生回数（+216万回） ③日本人県民と積極的に関わりたいと思う外国人県民の割合（+12%） ④子どもの居場所づくり実施箇所数（+10箇所） ⑤日本語コミュニケーション支援セミナー開催日数（+15日）	

※群馬県、前橋市、桐生市の広域連携事業